

衝撃試験装置

MDST シリーズ

Multi-Drop Shock Testing System
MDST-300, 500, 700, 900

MDSTシリーズは、複数条件の正弦半波衝撃パルスを発生させることができるスタンダードモデルです。1つの緩衝体で複数の作用時間が発生可能な「緩衝可変機構」を備えています。また供試品の大きさ・質量に応じて、様々なテーブルサイズが選択できます。

特長

- ・ 緩衝可変機構により幅広い試験条件に対応
- ・ 自動制御による簡易操作
- ・ 専用衝撃計測器による複数チャンネルの衝撃計測
- ・ 衝撃テーブルの再衝突防止機構
- ・ 防振ベース機構による防振効果

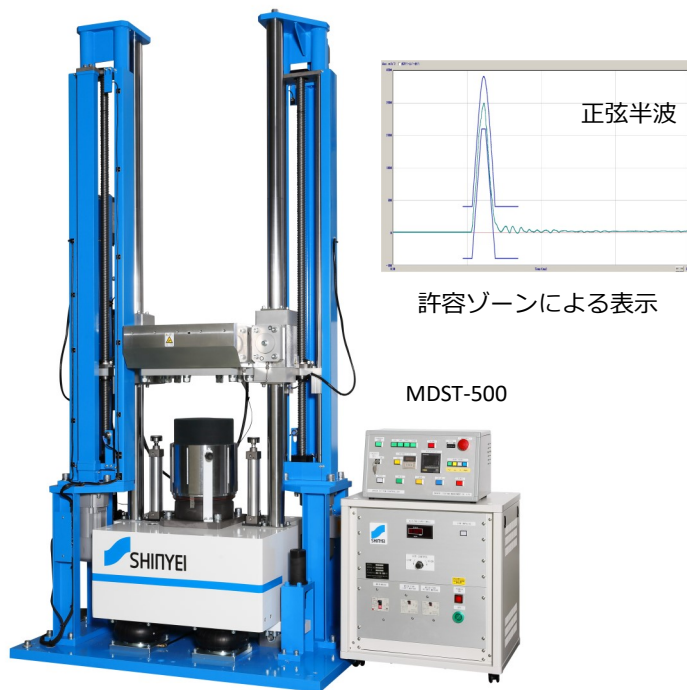
適合規格

- ・ JIS C 60068-2-27
- ・ JIS Z 0202
- ・ IEC 60068-2-27
- ・ MIL-STD-810F
- ・ JIS E 3015

仕様

型式	MDST-300	MDST-500	MDST-700	MDST-900	MDST-1100	MDST-1500	MDST-2000
衝撃台サイズ (W x Dmm)	300 x 300	500 x 500	700 x 700	920 x 920	1150 x 1150	1500 x 1500	2000 x 2000
供試品最大質量 (kg)	50	80	100	200	350	500	
衝撃波形	正弦半波						
衝撃加速度範囲 (m/s ²)	100~3000 (10~300G)				100~2700 (10~270G)		100~2000 (10~200G)
衝撃作用時間範囲 (ms)	4~25						
本体寸法 (W x D x Hmm)	1100 x 640 x 2400	1300 x 700 x 2500	1600 x 900 x 2950	1800 x 1150 x 3300	2200 x 1300 x 3100	2500 x 1650 x 4055	3000 x 2300 x 3690
本体質量 (kg)	1000	2600	4200	5200	9000	19100	32000
制御装置寸法 (mm)	W600 x D500 x H950						
電源	AC200V、3相、10A		AC200V、3相、20A		AC200V、3相、30A		AC200V、3相、40A

* カスタム対応も承ります。詳しくは当社までお問い合わせください。



 **SHINYEI** www.shinyei-tm.co.jp

神栄テクノロジー株式会社

神戸 〒650-0034 神戸市中央区港島南町6-5-2
TEL. 078-302-6795 FAX. 078-302-1225
つくば 〒300-2657 茨城県つくば市香取台B47街区11画地
TEL. 029-848-3571 FAX. 029-848-3572

●本カタログ記載の仕様・内容は改良のため予告なしに変更する場合があります

202008

衝撃試験装置オプション（ASQ / MDST / SDST用）

自動緩衝可変装置（ASQ/MDSTのみ）

緩衝可変機構とは、緩衝体（衝突面のゴム）の露出高さを調整するシステムで、複数の作用時間を発生させることができます。手動作業での調整が通常ですが、作業効率化のため、自動調整タイプがオプションで選択できます。



自動緩衝可変装置

低加速度発生システム

低加速度の衝撃パルスを発生させるためのシステムを追加することができます。これは、エアシリンダを用いることで衝撃テーブルの落下速度を低減させ、低い衝撃値を発生させます。

高速昇降機能

試験サイクルの高速化のため、衝撃テーブルの昇降機能を吊り下げ型にカスタマイズできます。これにより、試験サイクルは約2倍に向上します。

テーブルサイズ 要求

試験サンプルの大きさにより、衝撃テーブルのサイズを任意のサイズに設計できます。これまでの最大サイズとして、2000x2000mmの実績があります。

包装貨物落下試験用緩衝体

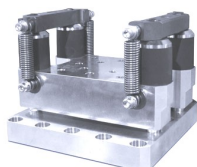
衝撃試験機による包装貨物落下試験を実施する専用緩衝体（作用時間3ms）をオプションで提供します。JIS Z 0200やASTM D5487に準拠した試験を可能とします。

高加速度発生装置 HGPシリーズ

HGPシリーズは、より高い衝撃パルスを発生させることができるオプションテーブルで、2つのモデルから選択できます。HGP-20は最大5000G-0.2ms、HGP-150は最大50000G-0.08msの衝撃パルスを発生できます。



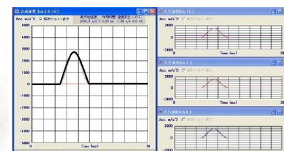
HGP-20



HGP-150

ショックマネージャ SM-500

SM-500は、衝撃試験時の加速度計測を行うための専用計測器で最大10chの加速度ピックアップ*を接続できます。専用ソフトウェアにより、PC上でリアルタイムに衝撃波形を確認します。さらにSRS解析、フィルタリングなど衝撃解析に有効な機能を備えています。



- ・簡易操作性
- ・加速度データ解析機能

*接続可能な加速度センサは圧電型、アンプ内蔵型で、5chモデル、10chモデルの2モデルから選択できます。

安全対策

衝撃試験は、高精度に実施できるだけでなく安全性も備えています。

- ・安全柵（防音対策）
衝撃時の騒音や事故を防ぐため、装置を覆う安全柵を設置することができます
- ・表示灯
表示灯により、落下待機状態や落下動作を試験機周辺に知らせることで、安全に試験を行います。
- ・安全マットスイッチ
マットスイッチの上に人や物が乗っている時は、各種動作を無効にすることで、事故を未然に防ぎます。
- ・光電センサ
試験装置の運転中に人や物を検出すると、光路の遮断（遮光）により落下動作を無効にし、事故を未然に防ぎます。



安全柵（参考）

*その他の試験機でも利用できます。